

東京

東京総局

〒100-8077
東京都千代田区
大手町1-7-2

電話 03-3275-8747
FAX 03-5255-6634
shuto@sankei.co.jp
広告 03-3275-8654

購読申し込み・
配達・集金

0120-34-4646

紙面・記事

0570-046460

Web

https://www.sankei.com/
region/

(8日)
旧9月19日
《先負》



あすのよみ

月齢	17.6
日出	6:09
日入	16:40
月出	18:46
月入	9:18
満潮	7:04
干潮	17:38
中潮	0:12
	12:23
	(東京)

THE SANKEI
SHIMBUN

ウェブでも
ニュース
発信中

www.sankei.com/

都会のネズミ 住宅地でも

相談件数増加、自治体対策苦慮

都内でネズミに関する相談件数が増えている。実数調査などしていないため、全体の個体数は不明だが、繁華街の飲食店や住宅から出る生ごみなどが「餌」になっていることが増加の要因とみられている。ネズミによって感染症や火災を引き起こすリスクが高まる中で、自治体は対策に追われている。

数増加の理由に、同協会の技術委員長を務める佐々木健氏は「外部に餌が多く、過去に比べて繁殖しやすい環境にあることや、SNSで拡散されやすくなり、人の関心が向いているのでは」と分析する。

駆除も追い付かず
新宿区では目撃情報が相

次いだことから、令和5年度から対策に乗り出した。歌舞伎町や百人町などといった繁華街で、ごみの出し方や、巣穴となる建物の亀裂などの状況確認などを実施している。

感染媒介媒介懸念も

都市部で問題になりやす

いのはドブネズミとクマネ

ズミ。ドブネズミはコンク

リートの地面に穴を掘った

り、裂け目などに生息す

る。一方、クマネズミはド

ブネズミと比べると小さ

く、警戒心が強い。ため駆除

が難しく、住宅などの建物

で被害に遭うことが多い。

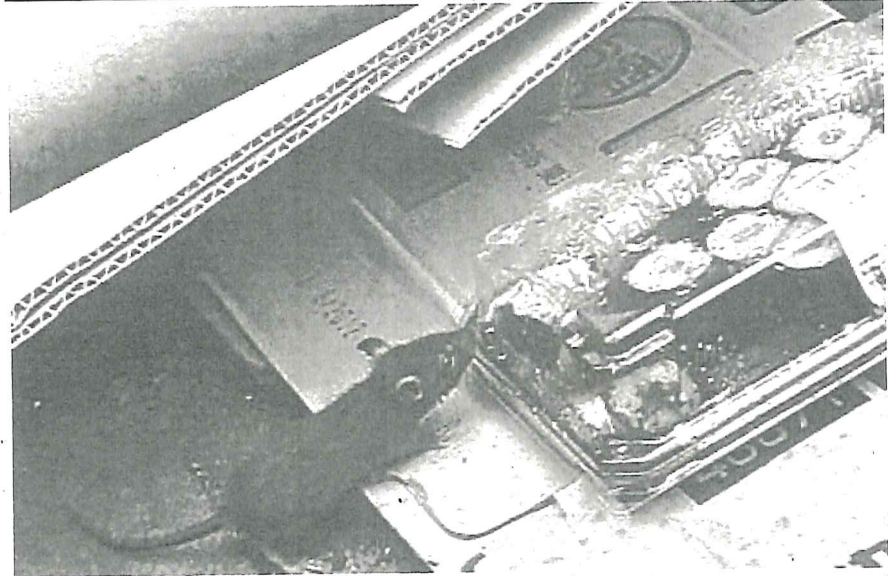
ともに人間の食べるもの

はほぼ何でもという雑食。

生後3カ月から繁殖が可能

で一度に数匹程度を出産す

「ネズミだー」
東洋一の繁華街として知られる新宿・歌舞伎町の深夜、飲食店が営業を終えて出したごみ袋に多数のネズミが群がり通行人たちが思わず声を上げる。細い路地だけでなく、人が多く通る道に現れ、人の間を縫うように走り去っていく光景はもはや日常になっている。



⑥設置された箱に毒餌を補充してネズミを駆除する。10月30日、新宿区（梶原龍撮影）
④路上の弁当を狙うネズミ。千代田区（千代田区提供）



ネズミは屋内でも食べ物をかじったり、ごみをあさるなどさまざまな被害をもたらす。ネズミに寄生す

るイエダニによる吸血被害で、感染症を媒介することもあるという。また、電線やコードをかじり、尿がかかって火災につながる危険性もある。

専門業者に相談を
千代田区でも区に寄せらる相談件数が急増し、対策に追われている。平成後期は年間50件前後だったが、令和に入り急増。年100件以上が続き、5年には418件に上った。

5年度から、巣穴の位置などから生息場所を調査している。屋外ではほとんどがドブネズミで、区内の麴町などの山の手側よりも神田や秋葉原などの繁華街エリアに集中していることが分かった。

千代田区は町会単位での清掃やネズミ対策の説明会を実施。住宅地のごみ箱もネズミに食い荒らされている状況から、マンションでの蓋つきごみ箱の設置や、ごみ集積所の修繕などに対して助成する事業を7月から始めた。

佐々木氏は「まず餌を断つことが重要で、食べ物を外に放置しないことや、ごみ箱の適切な管理が必要」と話す。「一戸内でネズミを見つけた際は、侵入口の隙間を特定し、捕獲や毒餌による駆除を専門の業者に相談することをお勧めする」としている。